



東北大学災害科学国際研究所 東日本大震災メモリアルシンポジウム 2024

誰一人取り残さない インクルーシブ防災

2024年3月9日(土) 10:00～12:00

会場：仙台国際センター 展示棟展示室3-B

“誰一人取り残さない”防災（インクルーシブ防災）とは、「社会の人たち全員のための防災」で、「仙台防災枠組」「持続可能な開発目標 SDGs」の重要なコンセプトになっています。すべての人には配慮すべき事情がある一方で、災害時に誰一人取り残さないようにするためには、まずは最も脆弱性の高い人々の防災を考えることが重要です。IRIDeS ではこのたび、“誰一人取り残さない”インクルーシブ防災をテーマに、研究発表とシンポジウムを行います。

挨拶： 災害科学国際研究所長 栗山 進一

発表：仙台市長 郡 和子

研究発表

- ・防災モビリティ学の提案：モビリティから考える誰一人取り残さない防災
- ・インクルーシブ防災と数値シミュレーション
- ・包摂性に配慮した Build Back Better の実践的手法
- ・誰一人取り残さない防災に向けて：医療的ケア児・者およびその家族との地域防災コミュニケーションの必要性

パネルディスカッション

個別避難計画の実効性を高めるためのマルチステークホルダーによる協働
～医療的ケア者のケーススタディ～

登壇者：大友 まり子・大内 幸子・今野 均・只埜 弓美・朴 慧晶・村上 真綺
進行：佐藤 健 (IRIDeS)

挨拶： 災害科学国際研究所副所長 小野 裕一



お問い合わせ・参加申し込み

東北大学災害科学国際研究所 広報室

ウェブフォーム：<https://forms.gle/3zg3qC74basTCard6>

FAX・メール：お名前（ふりがな）／ご所属またはご職業／
メールアドレス／電話番号 をお書きください。

電話：022-752-2049 FAX: 022-752-2013 Email: memorial@irides.tohoku.ac.jp

お申し込み締め切り：

2024年3月1日(金)15:00



挨拶

東北大学災害科学国際研究所 所長 栗山 進一

発表

仙台市長 郡 和子

研究発表

- ・ 防災モビリティ学の提案：モビリティから考える誰一人取り残さない防災
齋藤 玲（認知科学研究分野）
- ・ インクルーシブ防災と数値シミュレーション
野村 怜佳（計算安全工学研究分野）
- ・ 包摂性に配慮した Build Back Better の実践的手法
永見 光三（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス・グリーン未来創造機構）
- ・ 誰一人取り残さない防災に向けて：医療的ケア児・者およびその家族との
地域防災コミュニケーションの必要性
朴 慧晶（災害医療情報学分野）

パネルディスカッション

個別避難計画の実効性を高めるためのマルチステークホルダーによる協働 ～医療的ケア者のケーススタディ～

パネリスト：

- 【民生委員】 大友 まり子（長町南部地区民生委員児童委員協議会・会長）
- 【SBL】 大内 幸子（高砂地区町内会連合会・仙台市地域防災リーダー）
- 【町内会長】 今野 均（片平地区連合町内会・会長）
- 【保健師】 只埜 弓美（宮城野区障害高齢課・課長）
- 【研究者】 朴 慧晶（IRIDeS 災害医療情報学分野・助教）
- 【大学生】 村上 真綺（宮城教育大学教育学部特別支援教育教員養成課程・3年）

進行：

佐藤 健（防災実践推進部門 防災教育実践学分野）

挨拶

東北大学災害科学国際研究所 副所長 小野 裕一

総合司会：中鉢 奈津子 特任准教授